

NHKではめずらしい、温泉番組

ぜんぶ、温泉。～和歌山を浴びる「#1」「#2」

第二回は、和歌山県編

（その1）温泉の旅人が、「温泉芸人」でなく、直木賞作家とは驚きです。



普通の温泉番組と違い、旬な食べ物などは一切紹介せず、温泉のみ紹介する番組です。

和歌山県を特集しております。

NHK番組内容より紹介温泉の記述です。（内はロダン君の解説）

「#1」では

- ① 川全体をせき止めて巨大な湯船に変豹させる ・ 川湯温泉
（清津峡の切明温泉とは、全く違う ワイルド系温泉です。水着や湯あみ着持参）
- ② 太平洋に怒とうに涌く奇岩の湯 ・ 白浜温泉。
（不老不死温泉のイメージ・手前風呂が岩盤湧出で熱い。海岸まで0メートル）
- ③ キャンプ場にこつ然と涌く天然ローション湯 ・ 奥熊野温泉
（日本三美人の湯として有名な『龍神温泉』があります。）

「#2」では

- ④ みかんサイダーと見まごうばかりの特濃炭酸泉 ・ 花山温泉
（関西最強の炭酸泉。源泉風呂は26度です。42度の風呂と交互に入ります。）
- ⑤ 湯船はまるで鍾乳洞！熊野古道に接する ・ 湯の峰温泉のつぼ湯
（岩盤湧出の貸し切り専用風呂はめずらしい。）

皆さんもご存知のとおり、和歌山県を車で縦断するには昔は、一日掛かりでした。現在は、海岸沿いに高速の無料区間が整備中ですが、山間部（熊野古道沿い）は従来のまま、移動時間にご注意を。

今回のロケ地も、和歌山市、南紀白浜、田辺市と移動に時間がかかります。

番組では、移動の苦労は放映されておらないことと、放送の温泉をぜんぶ体験する攻略法や居酒屋情報をロダン・タイムズ的に解説します。

今回のポイントは、⑤の湯の峰温泉のつぼ湯の攻略法です。

このつぼ湯は、定員2名の貸切風呂。一回入浴30分制限。一つしかなく、一日30組も入れません。予約は不可。連休なら数時間待ちの覚悟です。

もう一つのポイントは、和歌山に大阪府側から入るか、三重県側から入るかのコース選択が必要です。

（その2）ぜんぶ温泉和歌山版 ロダン君的な旅

和歌山は、最低2泊3日、できれば3泊が望ましい。

大阪経由で和歌山に向かうなら、まずは和歌山市へは午前11時前に到着ください。

1湯目は、花山温泉へ。ここは源泉が26度と低いので、温浴と交互に入って1時間は入浴ください。

2湯目に、湯の峰温泉のつぼ湯を**仮に**目指します。（移動時間3時間）

つぼ湯は、一日30組も入れない幻のお風呂。

予約不可のため、順番取りをします。待ち時間が1時間以上あったら、

冬季限定の川湯温泉の仙人風呂を待ち時間で入れます。

待ち時間が2時間でしたら、ローション温泉か龍神温泉を先にアタックします。

待ち時間が3時間以上でしたら、川湯温泉とローション温泉に先アタック。

なお、夕刻以降は1回の入浴時間が短くなる傾向ですから、夕方4時までには予約しましょう。

つぼ湯優先の方は、旅館の夕ご飯を予約しない方が良いと思います。

新宮市か、田辺市のビジネスホテルを予約し、夕ご飯は近くの居酒屋へ。

翌日は、南紀白浜に8時前について、崎の湯へ。（駐車場15台）

直ぐに満車になります。

このコース以外の場合には、日本三大美人の湯『龍神温泉』も挑戦ください。

なお、居酒屋は、南紀白浜の『長久酒場』も一押し。

家族連れなら、パンダもいいですね。



万代つばさグループ代表
発行者 八百板 誠

（税理士法人 万代つばさ 代表社員税理士）
（八百板誠行政書士事務所）

事務所：新潟市中央区下大川前通7ノ町2230番地（8階建の1階奥です）
025（228）4697

編集者より 記事は独自の調査分析により書き上げております。

明示、黙示にかかわらず、発行者（当事務所）がこれを保証するものではありません。